

**サンタクロースがやってきた！ ～ 東通ライオンズクラブ ～**



サンタクロースと記念撮影

12月24日(日)、クリスマス・イブの夜、東通村にサンタクロースがやってきました。サンタクロースは「メリークリスマス！」と大きな声で、村内7軒のお宅を訪問。子供たちは突然のサンタクロースにびっくりした様子でしたが、プレゼントを貰って、とびつきの笑顔がはじけていました。

今回のサンタクロースの訪問は、東通ライオンズクラブの皆さんが、子供たちの「サンタって本当にいるの？」という可愛い疑問や夢を守るために企画したもので、当広報誌で訪問家庭を募集し、今回で3回目の試みとなります。

サンタクロースは来年度もやってくる予定とのこと。今から良い子にして待っていないといけないですね。

**1人暮らし高齢者へおせち料理とお米の差し入れ**

～ 東通村社会福祉協議会・東通ライオンズクラブより ～



保健福祉センターで寄贈式を行う  
吉田昭美会長(写真左)と  
東田伸也会長(写真右)



各家を訪問しておせちを配りました

12月26日(火)、東通村社会福祉協議会(吉田昭美会長)が、村内各集落の一人暮らしの高齢者44名におせちとお米の配食を行いました。おせちの配食事業は、赤い羽根募金とNHKの共催で行われている「NHK歳末たすけあい運動」の一環として、85歳以上の1人暮らし高齢者の希望者を対象に毎年行われているものです。

また、今年もおせちと一緒にお米の配布も行いました。このお米は、東通ライオンズクラブ(東田伸也会長)が「地域に貢献したい」と、寄贈したものです。

12月15日に、東通ライオンズクラブの東田会長から社会福祉協議会の吉田会長に、今年の干支である戌の絵が入ったお米の袋が手渡されました。

配食当日は、社会福祉協議会の職員が1軒1軒自宅を訪問し、おせちとお米を手渡していました。

おせちとお米を受け取った高齢者は、「今年もありがとうございます」と喜んでいました。

**青森ヤクルト販売株式会社が東通村診療所へ車椅子を寄贈**



診療所スタッフと一緒に寄贈された車椅子と記念撮影をする大久保所長(写真左)



川原田所長(写真右)へ寄贈の報告をする大久保所長(写真左下)と川村さん(写真左上)

12月26日(火)、青森ヤクルト販売株式会社が、東通村診療所に車椅子1台を寄贈しました。

この活動は、青森ヤクルト販売(株)が、地域社会への貢献のために、県内の診療所や福祉施設を対象として行っています。

当日は、青森ヤクルト販売(株)むつ営業所の、大久保貴美子所長と川村真さんが東通村診療所を訪れ、「東通村の方々のために役立てて下さい」と川原田恒所長へと寄贈の報告をしました。

川原田所長は「車椅子は損傷が発生しやすい消耗品のため、診療所でも数が不足しており、今回の寄贈は大変助かります」と感謝を述べていました。